

地方創生関連事業に関する実績検証資料 【 令和 4 年度 】

担当課・外部検証委員の評価 A:このまま継続 B:改善・見直し C:廃止・終了

地域再生計画名	地方創生関連制度名	分野／ページ (未来計画)	個別事業の概要	本年度の内容・実績及び事業費 (単位:円)	総事業費 (単位:円)	重要業績評価指標(KPI)			担当課の検証 ① 〔 KPIに関する検証については、 計画申請課が総括 〕		外部検証委員の検証		
						指標(開始時)	本年度目標値	本年度実績値	評価	KPI・実績に対する見解と今後の方針	評価	主な意見	
ランドスケープ計画を核とした地域の担い手・関係人口創出計画	地方創生推進交付金 (1/2国庫補助)		ランドスケープ計画を核とした地域の担い手・関係人口創出事業のKPIに関する検証 →										
			資産形成 ／ 62	<p>【ランドスケープ計画推進事業】 1年目のガイドラインに沿って、各地域及び各団体とのワークショップを開催し、各地区で実施可能なプランを作成する。引き続きランドスケープ評議会を開催し、計画実施に向けて、より具体的な内容を検討する。</p> <p>【担当課:建設課】</p>	<p>■ランドスケープ計画推進事業 ・10月にランドスケープ計画推進委員会を開催し、コロナ対策に努めながら、益子・益子西・田野地区でワークショップを開催した。</p> <p>【事業費】7,370,275円 委託料</p>	21,595,697	①地域の保全活動に取り組んだ人数 2,689人	①2,749人	①2,314人	B 改善・見直し	<p>①コロナ禍により、本町内においても様々な活動が自粛となる傾向となり、各地域の環境保全活動についても同様の傾向となったため、KPIが未達成となった。今後は、感染状況を注視しながら、環境保全活動、ボランティア活動、ワークショップなどの開催を支援し、KPIの達成を図る。</p> <p>②KPIは未達成だったが、前年対比で1,624人の増となり、順調に推移している。引き続き町外会員＝関係人口の増加に努めるとともに、町内事業者の販売戦略に活用できるよう、蓄積された購買データの分析から得られるマーケティングデータを定期的に公表していく。</p> <p>③様々なイベントの再開やとちぎ国体の開催などにより町外在住者との接点が増えたことや、町ホームページのリニューアル、田園回帰の機運の高まりなどにより、目標値を大きく上回る実績だった。引き続き有効な情報発信に努め、移住者や関係人口の増加を目指す。</p> <p>④次頁【花のまちづくり事業】の検証結果に同じ。</p>	B 改善・見直し 5委員	・担当課による評価及び検証に異論なし。
			産業 ／ 42	<p>【歩きたくなるまちづくり推進事業】 役場周辺地区の全体の状況の把握結果を基に、益子本通りに沿った地域に着目し、街の特性を活かしたコンパクトシティによるまちづくりと景観を活かした観光ルートづくりに向けて、事業構想、整備計画を作成する。</p> <p>【担当課:観光商工課】</p>	<p>■歩きたくなるまちづくり推進事業 ・トークセッション等を開催し、現状課題の洗い出しや未来ビジョン案の作成等を実施した。</p> <p>【事業費】1,980,000円 委託料</p>		②masipoカード会員数(町外) 900人	②15,200人	②9,692人	A このまま継続	<p>全7地区の各代表と各分野の専門家によるランドスケープ計画推進委員会を開催した。また、地域づくり活動の意識・機運を高めるため、3地区でワークショップを開催した。今後は各地区の問題点と解決方法を共有し、町内景観の保全・育成を町全体で行う仕組みづくりを進める。</p>	A このまま継続 5委員	・担当課による評価及び検証に異論なし。
						③移住定住・関係人口ワンストップサイト トップページ アクセス数 6,153件	③6,653件	③8,767件	A このまま継続	<p>地区住民代表や宇都宮大学、益子町商工会等と計画書作成準備会を組織し、課題や未来ビジョンの検討を行った。近年本通り界限に開店した店主を招き地域住民や開店希望者とのトークセッションも2回実施し、事案の検討とともに機運醸成も図れた。</p> <p>来年度以降は自治会長等にも参加いただき、より広範囲かつ具体的な活動を行っていく。</p>	A このまま継続 5委員	・担当課による評価及び検証に異論なし。	
						④花祭り来場者数 70,000人	④76,000人	④95,471人	A このまま継続				

地方創生関連事業に関する実績検証資料 【 令和 4 年度 】

担当課・外部検証委員の評価 A:このまま継続 B:改善・見直し C:廃止・終了

地域再生計画名	地方創生関連制度名	分野／ページ (未来計画)	個別事業の概要	本年度の内容・実績及び事業費 (単位:円)	総事業費 (単位:円)	重要業績評価指標(KPI)			担当課の検証 ① ( KPIに関する検証については、 計画申請課が総括 )		外部検証委員の検証	
						指標(開始時)	本年度目標値	本年度実績値	評価	KPI・実績に対する見解と今後の方針	評価	主な意見
【再掲】 ランドスケープ計画を核とした地域の担い手・関係人口創出計画	【再掲】 地方創生推進交付金 (1/2国庫補助)	経営体 ／ 72 ・ 暮らし ／ 27	<p>【関係人口創出事業】 里山風景の維持・継承活動へ参加するツアーを開催し、町内のキーパーソンと交流し、継続的な参加者を拡大すると共に、町内の受入先の自主的なツアー企画・運営に向けた基盤づくりを行う。</p> <p>【担当課:企画課】</p>	<p>■関係人口創出事業 ・小宅古墳群で活動する亀岡八幡宮里山の会や町内で活躍する様々な分野のプロフェッショナルをキーパーソンとし、益子芳星高校生を始めとする町内外の若者有志と共に、小宅古墳群の里山保全を「我が事」として考える関係人口の創出を図るため、活動の活性化や里山の利活用に関するワークショップを行った。 ・移住検討者が町内のキーパーソンと交流する機会等を設けるオーダーメイド型の町内ツアーを開催した。 ・実績(回数・参加人数) ワークショップ・・・5回・のべ139人 ツアー・・・7回・12人</p> <p>【事業費】1,317,000円 委託料・報償費</p>	【再掲】 21,595,697	【再掲】 ①地域の保全活動に取り組んだ人数 2,689人	【再掲】 ①2,749人	【再掲】 ①2,314人	A このまま継続	<p>ワークショップについては、多様な参加者が継続的に意見交換などを行い、新たなイベントの企画や愛称・ロゴマーク・オリジナルグッズ・休憩用ベンチ・現地掲出用マップなどの作成を行い、小宅古墳群への関わりしるの創出と里山の会の受入体制の強化につながった。 なお、これらの取組の総まとめとして、例年開催されている「小宅古墳群菜の花・桜まつり」の開催に併せ、本事業に関わった方々「オヤケコフズ」が、R5.4.1に「オヤケコフズフェス」を開催した。 オーダーメイドツアーについては、利用者の移住が2組8人実現し、具体的な成果につながった。引き続き実効性のあるツアーが企画できるよう、キーパーソンの確保等の準備や、制度周知に努めていく。</p>	A このまま継続 5委員	・担当課による評価及び検証に異論なし。
		暮らし ／ 27	<p>【ワンストップ窓口・WEBサイト関連経費】 移住サポートセンターや移住関連情報ワンストップサイトにおける「関係案内所」としての情報を充実させ、リピーターの増加と新たな参加者の獲得を図ると共に、引き続き東京圏在住者や近隣市町の工業団地勤務者に向けて本町での暮らしの魅力をPRを行い、関係人口や移住希望者の創出を図る。また、利用者等へのマーケティング調査を行う。</p> <p>【担当課:企画課】</p>	<p>■ワンストップ窓口・WEBサイト関連経費 ・昨年度に引き続き、道の駅まじこ内に移住サポートセンターを設置・運営するとともに、移住関連情報等のワンストップサイトを運営し、相談対応・情報発信を行った。また、子育て支援制度をまとめたチラシを作成し、町内施設やイベント等で配布した。 ・東京圏在住の20～30歳代や、住まいづくり奨励金等の交付者へのアンケート調査を行った。 ・相談件数(R4) 【道の駅:116件】【役場:44件】</p> <p>【事業費】928,422円 消耗品費・燃料費・通信運搬費・委託料・車両リース料・移住フェア負担金・ワンストップサイト賃借料等</p>		<p>②masipoカード会員数(町外) 900人</p> <p>③移住定住・関係人口ワンストップサイトトップページアクセス数 6,153件</p> <p>④花祭り来場者数 70,000人</p>	②15,200人	②9,692人	A このまま継続	<p>窓口での移住相談件数は、対前年度比1.5倍となった昨年度に比べると2割程度減少したが、移住セミナー等のイベント時も含めた相談件数は1割減以内にとどまった。また、コロナ禍前の窓口相談件数は90件前後であったため、高水準を維持できているといえる。 引き続き移住相談やオーダーメイドツアーによるきめ細やかな対応に努めるとともに、関係人口創出事業の実施や町内受入団体の育成により、関係人口の創出を進めていく。</p> <p>※参考:相談件数(R3) 【道の駅:154件】【役場:44件】</p>	A このまま継続 5委員	・担当課による評価及び検証に異論なし。
		暮らし ／ 34	<p>【花のまちづくり事業】 1年目のマーケティング調査結果に基づき各調査・研究項目のデータの収集および分析等を深め、実現に向けたプラン策定を進める。 前年の収益化の実装のPDCAサイクルの見直し。</p> <p>【担当課:生涯学習課】</p>	<p>■花のまちづくり事業 ・菜の花・桜、ひまわり、コスモスの3大花祭りでは、コロナ禍の影響もあり、駐車場及び簡易的な展望台設置のみ行った(物販やステージイベント等は未実施)。 ・花フェスタ2022を行い、町内産の花の展示の他、園児小学生による「花の絵画展」、押し花教室等を実施した。 ・花いっぱいコンクールを開催。一般の部15団体、学校の部11団体参加。</p> <p>【事業費】10,000,000円 花のまちづくり実行委員会交付金</p>		<p>④花祭り来場者数 70,000人</p>	④76,000人	④95,471人	A このまま継続	<p>コロナ禍の影響もあり3大花祭りのイベント開催は見送ったが、目標値を大きく上回る来場者数となった。また、昨年に引き続き花フェスタを開催し、事業のPRを行った。今後は、各花畑会場で実施したアンケート調査の分析を行い、収益化が図れる事業の検討を行う。</p>	A このまま継続 5委員	・担当課による評価及び検証に異論なし。

地方創生関連事業に関する実績検証資料 【 令和 4 年度 】

担当課・外部検証委員の評価 A:このまま継続 B:改善・見直し C:廃止・終了

地域再生計画名	地方創生関連制度名	分野／ページ(未来計画)	個別事業の概要	本年度の内容・実績及び事業費(単位:円)	総事業費(単位:円)	重要業績評価指標(KPI)			担当課の検証 ① 〔 KPIに関する検証については、計画申請課が総括 〕		外部検証委員の検証		
						指標(開始時)	本年度目標値	本年度実績値	評価	KPI・実績に対する見解と今後の方針	評価	主な意見	
購買手法の変化に対応するための「独自モール型ECサイト」を核とした産業支援計画	地方創生推進交付金(1/2国庫補助)	産業／43	<p>購買手法の変化に対応するための「独自モール型ECサイト」を核とした産業支援事業のKPIに関する検証 →</p>							B	<p>①ECサイトについては、今後事業内容を精査し検討を進める。</p> <p>②については、現段階では本年度実績値が捕捉できないため、今回は検証せず。</p> <p>③リアル陶器市を開催したものの、新型コロナウイルス感染症の影響から観光客入込数の伸び悩みもあり、益子焼販売額の目標値達成はかなわなかった。今後も消費者の購買意欲を刺激するような新商品の開発に引き続き取り組み、販売額の増加に繋げていきたい。</p> <p>④野菜の減産は全体的な傾向で、コロナ禍における業務用の需要減少が主因であると推測される。安定的な需要確保のため、ふるさと納税返礼品やネット販売など個人需要の喚起にも取り組んでいく。</p>	B	<p>・ECサイトに関しては、利用者目線での利便性を考える必要がある。</p> <p>・町内の産品を扱うポータルサイトがいくつかあるのかは把握していないが、「道の駅ましこ」や「ましこラボ」等もECサイトを運営しているのであれば、一元化することが望ましい。</p> <p>・独自モール運営の難しさとして、サイトを見てもらうまでの流入経路の構築やPRをしないと見てもらえないと思うので、そのような取組がさらに必要である。</p> <p>・上記以外については担当課による評価及び検証に異論なし。</p>
			<p>【「ましこマーケット・クラフト」サイト改修等事業】</p> <p>「ましこマーケット・クラフト」サイトについて、益子焼をはじめ、木工品や革製品も含めた手仕事品等、掲載商品の充実を目指すとともに、SNSとの連携を強化し、フォロワー数、アクセス数及び売り上げの増加を図る。</p> <p>【担当課:観光商工課】</p>	<p>■「ましこマーケット・クラフト」サイト改修等事業</p> <p>・「ましこマーケット・クラフト」サイトについて、益子焼をはじめ、木工品や革製品も含めた手仕事品等、サイトの取り扱い商品拡大のためのサイト改修および商品販売額の増加を目指し、Instagramでの広告宣伝を実施した。</p> <p>【事業費】1,885,492円 交付金</p>	8,300,000	<p>①「ましこマーケット」販売手数料 0万円</p> <p>②町内総生産額 538億円 (H29)</p> <p>③益子焼総販売額 23.0億円 (R1)</p> <p>④市町村別農業算出額 34.0億円 (H30)</p>	<p>①266万円</p> <p>②554億円 (R2)</p> <p>③25億円 (R4)</p> <p>④36億円 (R3)</p>	<p>①32万円</p> <p>②_億円 (R2) (R1は523億円)</p> <p>③20億円 (R4)</p> <p>④28億円 (R3)</p>	A	<p>サイトについて、改修とSNSでの広報を行うことでサイトへのアクセス数を増加することができた。引き続きSNSとの連携を強化していきたい。</p>	A	<p>・担当課による評価及び検証に異論なし。</p>	
			<p>【「ましこマーケット・フード」サイト販売品強化実証事業】</p> <p>「ましこマーケット・フード」サイトについて、商品の売上向上と、サイトへの出品者の枠を広げるために、冷蔵・冷凍以外の商品在庫の保管管理の手法の確立と制度設計の実証を行う。</p> <p>【担当課:観光商工課】</p>	<p>■「ましこマーケット・フード」サイト販売品強化実証事業</p> <p>・出品事業者を含めた町内事業者を対象に、新たな顧客層の獲得と売上向上を目標とした新商品開発ワークショップを開催した。また、消費者ニーズの把握を目的とした食品の販売動向調査のため、都内において、商品販売を実施した。</p> <p>【事業費】3,540,000円 交付金</p>					A	<p>出品者枠を広げるために新商品開発ワークショップや都内での商品販売を実施した。新商品開発への継続した取り組みや調査データ分析により、顧客ターゲットの絞り込みや消費者ニーズを的確に捉えることで、今後の販売品強化に繋げていきたい。</p>	A	<p>・担当課による評価及び検証に異論なし。</p>	

地方創生関連事業に関する実績検証資料 【 令和 4 年度 】

担当課・外部検証委員の評価 A:このまま継続 B:改善・見直し C:廃止・終了

地域再生計画名	地方創生 関連制度名	分野/ ページ (未来 計画)	個別事業の概要	本年度の内容・実績及び事業費 (単位:円)	総事業費 (単位:円)	重要業績評価指標(KPI)			担当課の検証 ① ( KPIに関する検証については、 計画申請課が総括 )		外部検証委員の検証	
						指標(開始時)	本年度目標値	本年度実績値	評価	KPI・実績に対する見解と今後の方針	評価	主な意見
【再掲】 購買手法の変化 に対応するため の「独自モール型 ECサイト」を核とし た産業支援計画	【再掲】 地方創生推進交 付金 (1/2国庫補助)	産業 ／ 43	<p>【出店者フォローアップ事業】 消費者動向を報告書としてまとめ、出店者にフィードバックを行うことにより、新商品の需要を含めた販売品の魅力向上とサイト強化に寄与するための市場調査を行う。</p> <p>【担当課:観光商工課】</p>	<p>■出店者フォローアップ事業 ・商品の男女別・地域別等の購買金額分析を実施し、各事業者へ調査結果を還元した。また売上向上に繋がるためのSNS活用方法を学ぶセミナーを実施した。</p> <p>【事業費】1,574,508円 交付金</p>	【再掲】 8,300,000	【再掲】 ①「ましこマー ケット」販売手 数料 0万円	【再掲】 ①266万円	【再掲】 ①32万円	A  このまま 継続	商品分析を行い、各事業者へ共有を行うことができた。今後、事業者にはそれぞれ新商品の開発と、SNSの活用によるサイト強化を行っていただけると考えている。	A  このまま 継続 5委員	・担当課による評価及び検証に 異論なし。
		産業 ／ 43	<p>【新商品開発のための人材育成事業】 益子町の陶芸家に対して、国内外の優れたアーティスト(工芸作家)を招聘し、その技法を学ぶワークショップを行う。益子町以外で活動しているアーティストを講師に迎えることにより、益子の粘土や釉薬等の魅力・特性を生かした新たな視点に触れることができ、益子町の陶芸家のレベルアップを図り、新商品の開発につなげていく。 事業2年目は、1年目に招聘したアーティストの制作活動に関する対応やワークショップの実施方法等のノウハウを基にして、複数名のアーティストを募集して事業を行う。</p> <p>【担当課:観光商工課】</p>	<p>■新商品開発のための人材育成事業 ・国内陶芸家(アーティスト)2名、国外陶芸家(アーティスト)1名による事業を実施。町内陶芸家のレベルアップを図るワークショップや講演会を行い、その内容について動画も作成しWEB上で公開することで町内陶芸家の人材育成を図った。</p> <p>【事業費】1,300,000円 委託料</p>		②町内総生 産額 538億円 (H29)	②554億円 (R2)	②_億円 (R2) (R1は523億 円)				

地方創生関連事業に関する実績検証資料 【 令和 4 年度 】

担当課・外部検証委員の評価 A:このまま継続 B:改善・見直し C:廃止・終了

地域再生計画名	地方創生関連制度名	分野／ページ(未来計画)	個別事業の概要	本年度の内容・実績及び事業費(単位:円)	総事業費(単位:円)	重要業績評価指標(KPI)			担当課の検証 ① 〔 KPIに関する検証については、計画申請課が総括 〕		外部検証委員の検証	
						指標(開始時)	本年度目標値	本年度実績値	評価	KPI・実績に対する見解と今後の方針	評価	主な意見
地域商社を核とした加工拠点整備計画	地方創生拠点整備交付金(1/2国庫補助)	産業／45	<p>【益子町地域振興拠点施設(加工施設)整備事業】</p> <p>地域の特産品であるりんごやなし、ぶどう、ブルーベリーといった多様な果樹や野菜を活用し、民間業者、金融機関、町の出資により設立した地域商社(株式会社ましこカンパニー)を核として、多くの顧客ニーズに対応する高付加価値商品や、保存期間が長く、加工も容易で町のブランドとなる商品の創出と、今後需要が見込まれる一次加工受託商品の製造が可能な食品加工施設を整備することにより、地方創生における課題の解決とその受け皿となる地域商社の経営基盤強化を図る。</p> <p>【担当課:農政課】</p>	<p>■農産加工品の商品開発と製造・上記に係る町内関係者の支援</p> <p>【事業費】56,961,152円 新商品開発費、食品製造費 ※ ましこカンパニーにおける事業費</p>	56,961,152	①本施設整備により新たに製造・開発された商品数 0点	①36点(累計)	①29点(累計)	A このまま継続	<p>①常温でも保存性が高い瓶詰加工品を8種類商品化した。今後はブランドイメージの高い地域の農産物で、雇用ニーズに合ったものに焦点を当て、開発を進めていく。</p> <p>②コロナ禍にもかかわらず、販売額は昨年度と比較して増加した。観光客入込数も回復傾向にあり、道の駅利用者も増えてきていることから、今後も増加すると思われる。更なる販売額増加に向け、商品のセット販売化や、道の駅の売り場面積だけでは限界があるので、ふるさと納税も活用しながら、販路拡大を図っていく。</p> <p>③目標値を達成した。引き続き取組を続けていく。</p>	A このまま継続 5委員	・担当課による評価及び検証に異論なし。
益子町 起業支援施設「チャレンジショップ」整備計画	地方創生拠点整備交付金(1/2国庫補助) および 備品購入は地方創生推進交付金(1/2国庫補助)	産業／42	<p>【益子町 起業支援施設「チャレンジショップ」整備事業】</p> <p>・最初から独立店舗での開業が難しい事業者に対し、町所有の建物を改修し、低額な家賃で2年間貸し出すことにより、起業・経営ノウハウを習得し、貸借期間終了後に町内空き店舗等にて独立開業する事業者を育成し、空き店舗の活用、商店街の活性化、事業者の定住を図る。</p> <p>【担当課:観光商工課】</p>	<p>■チャレンジショップ運営</p> <p>【事業費】21,230円 消耗品費、賃借料</p>	21,230	①本施設整備・稼働後の空き店舗の年間利用件数 0件	①4件(累計)	①1件	B 改善・見直し	<p>①空き店舗利用の要望はあるが、空き店舗情報がない。貸し借りしやすいシステムの構築が必要である。</p> <p>②チャレンジショップの利用者が地域おこし協力隊の退任者であり、地域おこし協力隊の起業に関する経費補助制度を令和4年度に活用したため、0件であった。</p> <p>③本施設の供用開始が令和3年度3月末であり、2年間育成後独立開業を目指すものとなるので、0件であった。</p>	B 改善・見直し 5委員	<p>①について…制度の仕組み的に難しい面もあるかもしれないことやショップのコンセプトなどによるものがあるかもしれないが、店舗があることでその時間の活用方法などがあると良いのではないかとと思う。</p> <p>・上記以外については担当課による評価及び検証に異論なし。</p>
益子町地区別戦略策定支援計画	地方創生推進交付金(1/2国庫補助)	経営体／75	<p>【地区別戦略策定支援事業】</p> <p>地区別戦略策定支援業務 ・専門家と連携し、地域住民等の意見を聞きながら、自治会の枠を超えた新たなコミュニティについて検討するとともに、より細かな範囲ごとに人口動態の現状分析と将来推計を行う。 ・地区別戦略の策定に向け、地域住民の理解を得ながらモデル地区の選定について検討した。 ・並行して、戦略策定の意義や優良事例の紹介等を行うと共に、次年度のモデル地区の募集を行う。</p> <p>【担当:企画課】</p>	<p>■地区別戦略策定支援事業</p> <p>・人口データ等の集約・整理 ・地区人口の現状分析、将来予測、定住増加シミュレーション ・中小規模自治会等現地調査と要因分析(2地区) ・地区別戦略策定支援(意見交換・ワークショップ・助言等)</p> <p>【事業費】3,784,000円 委託料</p>	3,784,000	①人口の社会動態(20～30歳代) △120人	①△75人	①△30人	B 改善・見直し	<p>①③東京圏への一極集中の改善傾向と若年外国人労働者の流入の増加により、目標を達成できた。引き続き第3期未来計画に沿った施策を総合的に展開していく。</p> <p>②調査分析や職員チームによる検討、自治会長への周知などの地固めに注力したこともあり、KPIが達成できなかった。次年度以降は機運醸成にも注力していく。</p> <p>④高齢単身世帯や老々世帯、また自治会活動への参加を希望しない世帯が増え、自治会退会者や未加入者の増加を食い止め切れなかった。自治会活動等の魅力向上や情報発信の推進等により、自治会や地域づくり活動への参画に対する意識高揚を図る。</p>	B 改善・見直し 5委員	・担当課による評価及び検証に異論なし。